

事務事業名 保育所地域活動事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：313

施 策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030207-02-257
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	こども部
基本事業の 成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	街道保育所
			担当係	街道保育所



事務事業が貢献すべき成果

計画年度			～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
・地域の高齢者や中学生、家庭で保育をしている乳幼児とその保護者が、保育所で入所児と交流を行う。					・地域活動として世代間交流を行う。 高齢者交流→・街道クラブ（朝倉街道団地）・アシスト桜台・育ジネットの3つの団体と保育所での交流や施設訪問交流を行う 職場体験 → 中学生の体験的学習活動や次世代育成のための実習を受け入れている 保育交流 → 毎週水曜日。就学前の親子の年齢別保育体験ができるように保育所を開放している					
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
・高齢者交流を高齢者の方の生きがいづくりの場とする。 ・職場体験で中学生の将来の夢を育てる。 ・保育交流参加により、子育てに対する不安軽減を図る。										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
地域活動年間交流回数			回	6	9		9			
保育交流年間参加総人数（親子）			人	9	61		61			
5．コスト										
事業費			計	千円	15	31	31	31		
			国	千円	0	0	0	0		
			県	千円	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0		
			一般	千円	15	31	31	31		
正職員人工数			人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費			千円	1,546	1,563	1,605				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)			千円	1,561	1,594	1,636	31			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）			コロナ禍であったため、園内での交流はできなかったが、保育所の園庭開放をすることにより、家庭で子育てをしている方同士の交流の機会になった。また、保育所入所へ向けて、見学だけではなく、交流の場で子育ての不安や悩みについても話をすることもでき、保護者の子育て不安の解消の場にもなった。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	・コロナ禍であったこと、また核家族化の進行に伴い、様々な年代の人との交流の機会が減少しているが、高齢者交流や職場体験の実施により、世代間交流の一役を担っている。 ・保育交流が再開していることを市民に定期的に情報提供することで、向上すると思われる。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	大きい									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					■備考・特記事項 or 進行管理欄					
・核家族化が進行し、保護者の子育てについて気軽に相談する場が少なくなっている ・地域の中での人間関係が希薄になってきているので、地域の子育て力を高める必要がある					特になし					